

(別紙)

成果の説明書

(氏名)	中村 匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 研究成果			
「平成の大合併」の実施によって、現在のわが国における市町村の人口と面積には大きな違いが生じている。それにも関わらず、規模の異なる市町村の担うべき役割について議論した研究は少ない。2013年度は、市町村の目的別歳出の各項目を分析対象として、規模の異なる市町村の担うべき役割について分析・検討した。			
(2) 教務関連			
新カリキュラム運営小委員会の委員長として、新カリキュラムの運営に関連する各種問題の取りまとめを行った。同小委員会では、新科目「グループ研究」のテーマ・担当決定、新科目「高崎市の課題と政策」関連、初年次教育の一部共通化、時間割編成などについて検討し、教務委員会に提示する原案づくりを行った。			
(3) 学会活動			
<ul style="list-style-type: none">・ 日本計画行政学会の学術賞幹事として、学術賞に関連する仕事を行ってきた。・ 日本地域政策学会の査読小委員会委員（編集委員会委員）として、機関紙『日本地域政策研究』の内容の改善に関する仕事を行ってきた。			
2 その他の事項			
(1) 講義方法の改善			
<ul style="list-style-type: none">・ 受講生には毎回の講義で質問・感想を用紙に記入してもらい、後の講義においてリブレターとして配布した。・ ゼミにおける研究活動の成果をポスターにまとめ、オープンキャンパスの際に展示した。			
(2) 大学経営			
他大学に視察に行き、教育や地域貢献について調査するとともに、学生に大学の施設・設備に関連するアンケート調査を行い、報告書にまとめた。			
(3) 社会貢献			
<ul style="list-style-type: none">・ ぐんま3R推進会議に委員として参加し、学術的な視点からコメントしてきた。・ 群馬県大規模小売店舗立地審議会の委員として、大規模小売店の新規開店等に関する申請について議論してきた。			